■第3期総合戦略における目標等設定について（案）

参考資料１

重点化目標		目指すまちの姿	目標に関わるキーワード	所信表明・町政運営方針との関連テーマ	具体的・重点的施策について	目標や重要業績評価指標（KPI）などについて					
						インパクト（案）<現状値>	目標値	アウトカム（案）<現状値>	目標値	アウトプット（案）<現状値>	目標値
Ⅰ	次世代を担う人を育て、希望に沿ったライフデザインをかなえる	子どもや若者の成長を地域全体で支え、教育・子育て環境を充実するとともに、将来の地域を担う人材を育成する。 また、多様化する一人ひとりのライフデザインの希望に沿いつつ、結婚・出産・子育てをかなえることができるまちを実現する。	人材育成・教育 グローカル人材 能勢分校との連携 協働的・対話的な学び 子育て環境充実 子育て支援充実 地域の担い手 定住	『住み続けられるまち、移り住みたいまち』 ・ 『まちを魅力化する』	・高校を含めた一貫教育における体系的な教育プログラムの推進 ・持続可能な社会の創り手としての意識を高める人材育成 ・学習環境の充実 ・能勢分校との連携 ・子育て環境の充実 ・子育て支援の充実 ・子どもたちの豊かな遊び・学びの実現	・子どもの出生数 109人 ＜R3-R7・5か年＞ ・能勢ささゆり学園への転入者数 27人＜R6年度＞ ・若年層（35歳まで）の定住意向率 ・子育て世帯の定住意向率 （※アンケート調査結果）	・170人 （R9-R13・5か年） ・30人 （R9-R13・5か年平均）	1 次世代の地域の担い手の創出・育成 a:将来の夢や目標を持っている後期課程生徒の割合:77.8%（R6年度） b:「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」における肯定的回答率 ・前期課程:79.6% ・後期課程:72.3%	a:全国平均を上回る b:全国平均を上回る （全国値比較）	1 a:ささゆり学園における地域資源を生かした体験学習の実施回数：－	a:6回（年度回数）
								2 希望する出産・子育ての実現、子育てに対する安心感の向上 a:暮らしやいと感じる子育て世帯の割合 b:子育てを楽しいと感じる人の割合 就学前児童の保護者:62.5% 前期課程の保護者:66.7% （R5年度）	a: b:80.0%	2 a:子育て世帯訪問件数 :●件 b:産後ケア事業利用件数 :■件 C:地域子育て支援センター利用者数:▲人	a:件 b:件 c:件
Ⅱ	地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる	移住・定住等促進のみならず関係・交流人口（能勢ファン）の創出により、地域内外の人とのつながりを広げ、継続的な人の流れを生み出す。	移住・定住 関係人口（能勢ファン） 地域とのつながり 空き家活用 魅力発信 体制・受け皿づくり	『移り住みたいまち』 ・ 『まちを魅力化する』	・住まいや新生活の支援 ・移住に関する情報発信 ・定住・能勢ファン（関係人口）の創出 ・魅力ある地域づくり ・地域の魅力向上 ・地域内に情報を伝える ・観光地域づくりの推進 ・多様な関係者・協力者との実践 ・多様な関係者・協力者との共創	・転入者数 1,300人 ＜R3-R7・5か年＞ ・転出者数 1,582人 ＜R3-R7・5か年＞ ※人口想定を踏まえ、目標値設定	・転入者数 1,500人※ （R9-R13・5年） ・転出者数 ****人 （R9-R13・5年）	1 移住・定住者の増加 a:空き家バンク掲載物件成約数 1件・年	a:10件（累計）	1 a:移住相談対応ツールの多様化:4種類 b:移住相談対応件数 :50件	a:多様化 b:70件
								2 関係人口（能勢ファン）の増加 a:ふるさと納税寄付件数 3,495人 b:町公式SNSフォロワー等件数（Facebook,LINEなど） 6,695人	a:6,000件 b:8,000人	2 a:地域おこし協力隊隊員数（累計）：８人 b:地域おこし協力隊隊員による情報発信件数:12件【R7年度実績】	a:10人 b:20件
								3 交流人口の増加 a:観光入込客数 375千人	a:500千人	3 a:交流人口の増加に向けた取組・イベント実施件数 :1件【R7年度実績】	a:3件
								4 地域活動への参画者増加 a:大学等との連携事業件数 15件	a:20件	4 a:大学等との連携協定締結件数：－	a:新たに３件
Ⅲ	多様な地域資源と特性を生かした自律的なまちをつくる	農業・観光・森林・再生可能エネルギーなどの多様な地域資源を活用し、地域内で経済・エネルギーが循環する持続可能な地域をつくる。	地域経済 農業 里山資源・森林 地域ブランド 産業振興 地域イノベーション 再生可能エネルギー ・ゼロカーボン	『続けられる農業、始められる農業』 ・ 『まちを魅力化する』	・持続可能な農業の展開 ・農業を基盤とした地域づくり ・森林資源を保全・育成するための対策の推進 （・森林管理に関わる人材の育成） ・地域経済の好循環創出 ・魅力ある就労環境の創出 ・エネルギー・資金・経済・情報の好循環創出 ・生物多様性の保全 ・令和32（2050）年ゼロカーボンタウン実現に向けた取組みの推進 ・令和12（2030）年を目標年とした多様な施策の展開 ・施策実現のための多様なネットワークづくり	・若年層（15歳から39歳）の町内就業比率 41.3%（R2年度） ※R7国勢調査結果を踏まえ、目標値設定	＊＊＊%	1 農林資源を活かした地域の稼ぐ力の向上 a:農業算出額:13億円	a:14.5億円	1 a:多様な主体による里山資源の保全に向けた協定締結件数：5件【R7年度末時点累計】	a:10件（累計）
								2 地域経済の活性化 a:観光物産センター売上高 5億8,111万円 b:創業実践塾受講者数 40人（累計）	a:6億5,000万円 b:70人	2 a:企業誘致件数 ３件	a:５件
								3 自然環境と調和した持続可能な地域の形成 a:		3 a:地域内再生可能エネルギー供給量 14,603KWh（R6年度）	a:18,000MWh

重点化目標		目指すまちの姿	目標に関わるキーワード	所信表明・町政運営方針との関連テーマ	具体的・重点的施策について	目標や重要業績評価指標（KPI）などについて					
						インパクト（案）<現状値>	目標値	アウトカム（案）<現状値>	目標値	アウトプット（案）<現状値>	目標値
Ⅳ	住み続けられる魅力ある地域をつくる	健康長寿や生涯活躍が実現できる場の創出や、地域福祉、交通、防災などの維持・強化により、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地域を形成する。	健康寿命 生涯活躍社会 地域包括ケアシステム 福祉 コミュニティ （地域・テーマ型） 公共交通 防災 地域共生社会 土地利用	『住み続けられるまち』	・医療体制の充実 ・地域包括ケアシステムの推進 ・高齢者の健康の維持・増進	・要介護認定出現率 18.2% ・高校や大学を卒業した後に、町内に居住して、就職したいと思う人の割合 14.1%（R2年度） ・町に住み続けたいと感じる人の割合 69.6%（R8年度）【速報値】 ※住民等アンケート結果確定値を踏まえ、目標値設定	・要介護認定出現率 18.2% ・高校や大学を卒業した後に、町内に居住して、就職したいと思う人の割合 ****% ・町に住み続けたいと感じる人の割合 ****%	1 健康で自立した生活の実現 a:認知症サポーター養成講座参加者数 1,326人 b:特定健康診査受診率：43.2%	a:1,500人 b:60.0%	1 a:家庭血圧測定支援件数 :●件 b:健康出前講座実施件数 :●件	a:□件 b:□件
					・共生社会づくりの推進 ・地域包括ケアシステムの推進 ・魅力ある地域づくり			2 地域で支え合い、安心して暮らせる地域共生社会の形成 a:		2 a:いきいき百歳体操の参加率：9.2%	a:12.8%
					・生きがいづくりと社会参加の支援 ・生涯学習・生涯スポーツの推進			3 生きがいと社会参加の充実 a:生涯学習講座・スポーツ講座等の参加者数	a:7,876人	3 a:生涯学習・スポーツの口座・イベント実施数：128件 （町が支援を行う団体のイベント等含む）【R6年度】	a:128件
					・魅力ある地域づくり【再掲】			4 地域コミュニティの維持・活性化 a:地域とのつながりがあると思う人の割合 57.9%	a:80.0%	4	
					・持続可能な公共交通ネットワークの実現 ・交通モード等のさらなる充実			5 誰もが移動しやすい生活環境の形成 a:公共交通利用者数（日当） 275人	a:***人 （地域公共交通計画との整合）	5 a:公共交通利用促進を図る取組件数：3件 （R7年度実績）	a:5件 （単年度実施回数）
					・活力ある暮らしを支える土地利用の推進 ・自然資本を賢く生かした災害に強いまちづくり ・人を惹きつける魅力ある公共空間・施設づくり ・多様な土地利用制度の有効活用による地域づくり			6 定住を支える生活基盤の形成 a:空家等相談における悩み事の解消件数 12件（R7年度実績） b:土地利用に係る相談対応件数：－件	a:20件 b:***件	6 a:空家等相談実施対応件数 :20件 b:土地利用に係る各種制度に関する情報発信件数：●件 C:公共施設・公的不動産の利活用件数	a:20件 b:5件 c:1件
5	必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる	ICTやデジタル技術を活用し、住民・行政・地域外人材が情報を共有しながら課題解決や地域づくりに参加できる環境を整える。	ICT デジタル化 情報発信 情報共有 データ活用 シティプロモーション 住民参加 自治体経営			・地域の魅力向上【再掲】 ・地域内に情報を伝える【再掲】 ・ICT技術等の利活用の推進		1 必要な情報が円滑に取得・共有できる環境の形成		1	
						・ICT技術等の利活用の推進 ・データの利活用の推進		2 デジタル技術を活用した住民サービスの利便性向上		2	